

静観台グループ例会

於：幡多小学校会議室 2000. 5. 24

参加者 高松（仁美小） 倉橋（幡多小） 松本（国府小）
田辺（福浜小） 八谷（幡多小） 福井（伊島小）

我々は何のために理科を研究しているのか？ 家で寝転び、ビールを飲みながらプロ野球を観ているいい時間に、どうしてわざわざ遠くから例会に集まってくるのか。それはきっと第一に理科（科学）が好きだから、そして、理科的なものを媒介にして子ども達といい関係を築きたいからなのだと思います。

今日の例会では、楽しい理科実験やもの作りを校内で広めることについて色んな意見が出されました。「情報は発信する人に集まってくる」という言葉を信じて、静観台グループが岡山の理科情報の発信源になればいいなあと感じました。

【リードスイッチモーター】 高松

高松先生が、さっそくリードスイッチモーターを試作して来られました。リードスイッチをやわらかい針金に取り付けたことで位置探しが容易になっています。また回転子にペンハムのこまをくっつけたというのなかなかのアイデアです。さらなる発展が期待できそうです。

【ミジンコの飼育】 倉橋

ミニ生態系づくりの倉橋先生が、今度はミジンコの飼育に挑戦です。ところで、ミジンコは成虫でしょうか幼虫でしょうか？ もし、成虫ならどうして隔絶された溜め池にわくのでしょうか？ 今後の研究に期待しています。

【広告で遊ぼう】 松本

学級経営に使える図工ネタです。広告の写真をイメージにぴったりの友達の画用紙に貼っていくというゲームです。友達のことをよくみているなあと感心させられるそうです。

【長文字賞状】 松本

斜めから見ると読める長文字を使って賞状を作っているそうです。2方向から読めるのがウリです。賞状は50枚300円でB6版のものを「うさぎや」で買ったそうです。

【再生する新聞】 田辺

とうとう学校で手品クラブまで作ってしまった田辺先生。科学と手品の楽しさには共通するところが多いですね。

【生活科でルーペを】 田辺

生活科で子ども達にルーペを渡してフィールドに出すと自然の事物の観察に熱中する姿が見られたというお話。

【形状記憶紙】 福井

簡単に作れる糸もの手品。紙が勝手に折れていく…。

